

- 会議名 平成30年度第3回八雲町社会教育委員会議
- 日時 平成30年11月27日(火) 午後6時30分～8時30分
- 場所 八雲町公民館 第1会議室
- 出席委員 11名
坂本昌昭、小山内仁、山崎 誠、幸村雅子、阿部榮子、小林元彦、小出政彦、及川敏江、今西千代子、木村さえ子、加藤寛喜、
- 説明員 教育長、社会教育課長、社会教育課長補佐、文化財係長、社会教育係主事、熊石教育事務所総務係長、
*傍聴者なし

《会議録要旨》

1 開 会 社会教育課長

2 あいさつ 八雲町教育委員会 教育長 田中 了治
八雲町社会教育委員 委員長 小林 元彦

3 議 題

(1) 報告第1号 平成30年度八雲町教育委員会社会教育課・熊石教育事務所所管上期事業実施状況について

○説明員から説明する。

委員～少年文化財教室をシルバープラザで文化祭時に開催していたが、会場に入りづらかった。廊下などでできたらよかったのではないか。

説明員～開催場所については、文化祭実行委員会との協議で決定して実施した。

(2) 報告第2号 平成30年度八雲町社会教育委員各種研修会出席報告及び各部会活動報告について

○研修報告は参加委員、各部会については各部長から報告

・事業部会では11月1日に社会教育委員だより15号を発行。

(3) 議案第1号 平成30年度八雲町教育委員会社会教育課・熊石教育事務所所管下期事業計画について

○説明員から説明する。

◆質疑なし

(4) 議案第2号 平成31年度八雲町教育委員会社会教育課・熊石教育事務所所管下期事業計画案について

○説明員から説明する。

◆質 疑

委 員～子ども絵画講座では、送迎があることで参加することができた小学生がおり、今後も参加しやすい環境づくりを検討してほしい。また公民館中心ではなく、地域に出ていく姿勢も必要ではないか。講座によっては講師一人では対応できない講座もあるので、運営協力者の謝金についても検討してほしい。

説明員～送迎については引き続き検討していきたい。講師以外の運営協力者についても、予算の関係もあるが検討していきたい。

教育長～少子高齢化が進む中で、社会教育事業も見直しが必要であり、コミュニティ・スクールを使ってスリム化ができればという考えもある。

委 員～落部地区には多くの外国人が生活しており、地域の中で交流できることがないか考えていく必要がある。落部では運動会に外国人も参加しており、子どもたちが普通に接しているのが特徴である。英語以外でもコミュニケーションをとることができるので、落部のメリットになればよいと思う。小学校の英語の授業を参観したが、とても楽しそうであった。

教育長～落部に住んでいる外国人労働者を巻き込んだ事業もできればという考えもある。

委 員～地域に住んでいる外国人は個人契約であるため、束ねる人がいない。コーディネーターの人がいれば、交流につながっていくのではないか。

委 員～過去には八雲地区でも、ブラジルの方を受け入れた経験がある。コミュニケーションをとれることが大切である。

委 員～外国人とともに暮らすために、親自身が基本的なマナーなどを身につけて、外国人との付き合い方を考えていかなければならないと思う。

委 員～国際交流事業は、季節にちなんだものを、八雲以外の地域でも実施してほしい。

説明員～国際交流事業については町内3地区での開催を考えている。

(5) その他 なし

4 閉 会